



発行所 兵庫県立姫路工業高等学校 姫路市伊伝居 600 番地 1 (079) 284-0111 編集発行 新聞部 編集責任者 小畑咲良



第77回生 入学 おめでとう

4月8日(金)に入学式が行われた。今年度は第77回生として209名の新入生を迎えた。コロナの影響がまだまだ消えてはいない状況であったが、立派な入学式を挙行することができた。慣れない制服に袖を通し、緊張と将来への希望を持って、新しい一歩を踏み出したことだろう。

ここ2年間行えていなかった行事「野外活動」は、今年度ようやく2泊3日の日程で行うことができた。1年生は3日間の野外活動で様々なことを学んだことだろう。姫工生らしさをしっかりと身に付けて帰ってきた1年生は、入学から3ヶ月が経った今、心地の良い挨拶をしてきている。(3D 山田)



野外活動の様子

Table with 2 columns: 機械科 就職者 (Mechanical Dept. Graduates) and 電気科 就職者 (Electrical Dept. Graduates). Lists companies and counts.

Table with 2 columns: 電子機械科 就職者 (Electronics Dept. Graduates) and 機械科 進学者 (Mechanical Dept. Graduates). Lists universities and counts.

Table with 2 columns: デザイン科 就職者 (Design Dept. Graduates) and 溶接科 就職者 (Welding Dept. Graduates). Lists companies and counts.

Table with 2 columns: 工業化学科 就職者 (Industrial Chemistry Dept. Graduates) and 電気科 進学者 (Electrical Dept. Graduates). Lists companies and counts.

Table with 2 columns: デザイン科 進学者 (Design Dept. Graduates) and 工業化学科 進学者 (Industrial Chemistry Dept. Graduates). Lists universities and counts.

Table with 2 columns: 溶接科 進学者 (Welding Dept. Graduates) and 電子機械科 進学者 (Electronics Dept. Graduates). Lists universities and counts.

第74回生 進路状況 まとめ (74th Anniversary Career Status Summary). Includes a large green title and a list of university destinations for graduates from various departments.



▲ギャラクシーレのアイス



▲CHOCODAKEの外装

今回私たちが訪れたのは、CHOCODAKEという本校の近くにあるチョコレート専門店だ。皆さんも登校時に前を通ったことがあるのではないだろうか。店内はカカオの甘い香りで満たされており、内装もとても素敵であった。絵本も置いてあったので、小さい子どもと一緒に来てほしいかもしれない。私たちがギャラクシーレとP125(クール・ド・グアナラ)というフレーバーのアイスクリームを食べた。アイスの大きさやチョコレットの種類も豊富で、トップingtソースは3種類から選ぶことが出来た。アイスは程よい苦味と爽やか

なミルク風味で、トップingtソースはアイスの味を邪魔せず、さらに美味しさを引き立ててくれた。アイスの他にもガトリーシヨコラやカスタードチョコパイなど様々なメニューがあったので色々試しても楽しいと思う。姫工から歩いていける距離にあるので、ぜひ時間のある時に友達を誘って行ってみたいだろうか。(3D 小畑)

全国大会出場 軽音楽部 (National Competition Participation by Light Music Club). Includes photos of the club members and text about their success at the national level.

皆さんは小説を読んでいる人生とまでは言わないが、自分に大きな影響を与えた言葉と出会ったことはあるだろうか。▼私は高校に入学してすぐ、読んだ本の一言に大きな影響を受けた。有頂天家族という森見登美彦さんが書かれた小説の一節である。彼の作品「夜は短し歩けよ乙女」や「ペンギン・ハイウェイ」などは、皆も一度は耳にしたことがある。その中で、私に一番大きな影響を受けた一節を紹介する前に少し彼の小説の魅力を少し語らせてほしい。▼まず、彼の作品の多くは京都を舞台とした少し軽妙なファンタジー小説だ。日常のようで非日常的であり、彼独特の文章のリズムは読んでいて楽しい。読み終わった後もふとした瞬間にまた読みたくなった。そして彼の小説を読むと、幻想的な世界観を思い浮かべ、ついワタワタと賑やかな景色を妄想させられてしまうのだ。▼話が脱線してしまいましたが、私が大きな影響を受けた一節を紹介したい。登場人物の一人の言葉だ。「世に蔓延する悩み事は大きく二つに分けることができる。一つは、どうでもよいこと、もう一つは、どうにもならぬことである。そして、両者は苦しむだけ損であるという点で変わりはない。この言葉は今の私を助けてくれた。現在作っているこの新聞は、私が新聞部に入った初めに作った新聞である。先輩に頼ることもできず、新聞を発行せねばならぬ期限ギリギリの今、私はこの言葉を頼りに、期限のことは考えず文字を打つことができています。なんだか間に合いそうな気がする。▼皆さんにも自分を変えてくれた言葉があるだろうか。もしかしたらこれから新聞部に入部して私のように新聞を作ればきっと出会えるだろう。ぜひ新聞部に入部してみたいか(3D 小畑)